



【オープニングトーク】 13日 16:00~17:00

川上 裕子 (アイヌ刺繍家)

ガンバット・ウスフバヤル (在札幌モンゴル国名誉領事館事務局長)

港 千尋 (多摩美術大学アートとデザインの人類学研究所所長)

伊藤 佐紀 (さっぽろ芸術文化研究所代表)

【アイヌ刺繍体験ワークショップ】 11:00-18:00 随時参加可能

「アート・ひろ」アトリエ講師による刺繍体験。どなたでもご参加いただけます。

参加費1,000円(材料費込み)。ぜひご参加ください!

【モンゴル文様小物・アイヌ刺繍小物・販売】

■展示概要

本展は2023年6月に多摩美術大学アート・アーカイブ・センターで開催された「モンゴル装飾文様アーカイブの創造 北方モンゴロイドから縄文・アイヌ文様へ」のサテライト展示になります。研究メンバーがそれぞれの視点から現地調査を行い、モンゴルの装飾文様、縄文土器や土偶の文様、北方民族の文化、アイヌの文様の関係性について考察し、〈文様デザインアーカイブ〉を立ち上げました。モンゴル・縄文・アイヌをテーマにした映像3作品とともにモンゴルの伝統文様、アイヌ刺繍、縄文文様の魅力を写真をとおして紹介いたします。また札幌展ではアイヌ刺繍作家の川上裕子氏の作品展示をはじめ、刺繍ワークショップも開催いたします。

■TAMA MON 22多摩美術大学文様研究プロジェクト

わたしたちは文様という、人が創造したヴィジュアルイメージを、文化の諸相や芸術を知るための資源として読み解き、アート&デザイン教育に活用しています。多摩美術大学第2代学長 石田英一郎(1903-1968)は「文様をして人間の創造の歴史を語らしめよ」という言葉を遺し、その後「文様研究所」が設立されました。「広く創造に関する諸問題を文様と研究を通して究明し、美術界に資すること」を目的とした文様研究所の精神を受け継ぎ、22世紀に向けた新たな文様デザインアーカイブの創造を目指しています。

■研究プロジェクトメンバー

深津 裕子(多摩美術大学教授 服飾史家)

伊藤 俊治(東京藝術大学名誉教授・多摩美術大学客員教授 美術史家)

港 千尋(多摩美術大学教授 写真家)

佐々木 成明(多摩美術大学教授 映像作家)

ヲノ サトル(多摩美術大学教授 音楽家)

勝又 公仁彦(京都芸術大学准教授 多摩美術大学非常勤講師 美術家)

特別協力 降幡 真(降幡建築設計事務所代表取締役社長 建築家)

■研究と発表会を含む事業は「第59回三島海雲記念財団 学術研究奨学金(人文科学部門研究)」により実施されました。



アイヌプリ工芸作家 アート・ひろ (川上裕子)

二風谷にてアイヌ(アイヌ)の両親のもとに生まれ、幼少期から日常生活の中でアイヌプリ(アイヌ文化)に触れながら過ごす。ピリカシシリムカ代表や職業訓練指導員(民芸・工芸)講師を担い、アイヌプリの伝承者として国内外で活躍している。



<https://www.instagram.com/arhiro2002/>

本展覧会について情報を随時アップしています!
詳しくはこちらの facebook と instagram をご覧ください。



お問い合わせ : 080-5593-6890 (担当: 伊藤) itosaki3@me.com